「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		葬祭費事業（国保会計）〔国民健康保険葬祭費支給事業〕									
予算科目	款 2	保険給付費	項 5	葬祭費	目 1	葬祭費	事業番号	1			
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保険年金 課 国民健康保険給付 係				課長名	岩野 秀夫					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 5			
【施策名】 社会保障の充実							総合計画書(ページ)	63			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市国民健康保険被保険者が死亡したときの遺族				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 東大和市国民健康保険被保険者数(年報年度平均人数)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 被保険者の遺族の葬祭に係る経済的負担の一部軽減				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①葬祭費支給件数/国民健康保険被保険者数 ②葬祭費支給金額/国民健康保険被保険者数						
	③ そのために何をしましたか。 葬祭費は、国民健康保険の相対的の必要給付に位置づけられ、東大和市国民健康保険条例第9条の規定により、国保被保険者が死亡したときに葬祭を行った者に5万円を支給している。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①葬祭費支給件数 ②葬祭費支給額						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	20,643	19,587	18,818					
	成果指標	②の数値	① % ② 円	①0.59 ②293	①0.59 ②294	①0.57 ②290					
目 標		②の目標値	目標値設定の考え方								
活動指標		③の数値	① 件 ② 円	①121 ②6,050,000	①115 ②5,750,000	①108 ②5,400,000					
3 経費	事業費(実績)		円	6,050,000	5,750,000	5,400,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	6,050,000	5,750,000	5,400,000					
		特定財源	円								
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	80.0	80.0	80.0					
		所要人数(再任用)	人								
職員人件費(再任用以外)		円	336,000	336,000	344,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	6,386,000	6,086,000	5,744,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		35 年度								
	(2) 環境の変化		葬祭費は、国民健康保険の相対的の必要給付に位置づけられており、東大和市国民健康保険条例第9条の規定に基づき支給している。								

事業名称	葬祭費事業（国保会計）〔国民健康保険葬祭費支給事業〕			
担当部署・課長名	保険年金	課	国民健康保険給付	係 課長名 岩野 秀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（2）を転記）			
	給付実績及び国保財政を考えると、支給額を据え置きながら事業を維持することが必要と考える。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	給付実績及び国保財政を考えると、支給額を据え置きながら事業を維持することが必要と考える。			
9 今後の方向性	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 社会保障の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				